#政策の名前
AI開発者との協働体制の構築

#目的
区民の満足度向上と区役所の業務効率化を図るためのAI開発者との協働体制の確立

#KPI
- AI開発のプロジェクト数
- AI導入によるサービス改善率
- 開発者との定期的なミーティングの回数

#概要
区役所とAI開発者が協力して、区のニーズに合わせたAIの開発と改善を行う。これにより、区民の利便性向上と区役所の業務効率化を図る。

#〇〇区だからこそやるべき理由
〇〇区はローカル線が多く、商店街が多いなど、地元ならではの特色がある。そのため、AIを導入する上でも、地元の特色やニーズに合わせて開発することが求められる。これには、AI開発者との協働が不可欠である。

#詳細
AI開発者との協働体制を構築するため、まずはAI開発者との定期的なミーティングを設ける。ミーティングでは、現在の区の課題やニーズ、改善点などを共有し、それを基にAI開発者が開発を進める。また、開発されたAIの評価や改善のフィードバックも行う。

#実現の手順
1. AI開発者との協働体制を確立するためのプロジェクトチームを立ち上げる
2. チーム内での役割分担とスケジュールを決定する
3. AI開発者との定期的なミーティングを設定し、区の課題やニーズを共有する
4. AI開発者が開発を進め、区からのフィードバックをもとに改善を行う
5. 開発されたAIの効果を評価し、必要な改善を行う

#リスクと対策
- 開発者との協働体制の構築：協働体制をスムーズに構築するためには、開発者との定期的なミーティングが必要。また、開発者への適切な報酬も重要。
- 開発速度：開発者のリソースやスキルにより、開発速度が遅くなる可能性がある。そのため、余裕を持ったスケジュールを立て、必要に応じて外部の開発者を追加する。
- AIの品質：開発者による開発結果の品質が低い場合、区民の満足度が下がる可能性がある。そのため、開発過程での定期的な評価とフィードバックが必要。